

文学部 ディグリー・ポリシー

岡山大学文学部は、所定の期間在学し、卒業に必要な所定の単位を修得するプロセスを通じて、以下に掲げる学士力を総合的に達成した学生に、学士の学位を授与する。

人間性に富む豊かな教養【教養】

ダイバーシティとグローカルが重視され、多様かつ普遍的な知の獲得が不可欠とされる現代社会にあって、地域・社会・文化と言語との関連性や文化の諸相に関心を持つことは、人間が創り上げた社会の在り方を理解する上での必須のプロセスである。このことを通じて学生は、自らがその一員である現代社会についての認識を深め、社会をより良い方向に導いていくための根源的、内発的な動機を獲得することができる。また、人間が長い歴史を通じて築き上げてきた豊かな思考の伝統と教養を継承しつつ、人間と世界についてみずから問い、探求する上での基礎的能力を身につけることによって、新たな時代における人間社会と文化の方向性を模索し、それを実現し得るだけの思考力と構想力を涵養する。

社会に貢献できる専門性【専門性】

専門的な学識とそれに基づく技能、とりわけ古典・外国語文献の読解、史資料・作品の分析、あるいは実験・調査を行う能力を習得し、それらを活用することができる。

効果的に活用できる情報収集・発信力【情報力】

人類史の過去と未来を見渡す幅広い視野に立ち、必要な情報を収集し、適切な方法で客観的に分析・考察し、その過程と結果を正確に伝達しうる言語表現力を駆使して、それらを評価・発信できる。

時代と社会をリードする行動力【行動力】

グローバル化の進展、価値観の多様化の中で「人間とは何か」という人文学の根源である問いをいだきつつ、社会・文化・心・言葉・行動に対する論理的思考力を獲得し、併せて多様性、包摂性といった共生・共創のための国際感覚を身につける。さらに、言語表現力、外国語運用能力に裏付けられたコミュニケーション力を用いて積極的かつ創造的に行動することで、社会活動において高度なリーダーシップを発揮する。

生涯にわたる自己実現力【自己実現力】

人文学的見地に基づいて問題を発見し解決する手続きを、1年次から継続的に学習することで、旺盛な知的的好奇心、豊かな感性、先入観に惑わされない公正な思考、自分を客観的に把握する能力を獲得できる。特に、演習科目への参加により調査・情報収集・解析の技法を修得し、卒業論文の作成過程を通じてそれを実践することで、卒業後も生涯にわたって知的関心を持続し、社会に刺激を与えるとともに自立した個人として自己の成長を追求できる。